

事業所における自己評価結果 (公表)

公表： 〃

令和7年3月31日

事業所名 乳幼児親子教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|------------------------|--|----|--|---|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 18 | 0 | | ・基準に沿った広さは確保されているが広くは感じない。 |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 18 | 0 | ・基準より多く配置している | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 17 | 1 | ・施設内外はバリアフリーの構造になっている。・一元化できる情報はマチコミで流すなどわかりやすくしている。 | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 18 | 0 | ・おもちゃ棚やコーナーなど分けて分かりやすくしている・毎日、出来る限りの清掃をするなど、清潔さを保つ努力をしている | |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 18 | 0 | ・話し合いの場へ積極的に参加される人が多い。・常勤会議等での出た事を事業所ごとの職員会議や毎日の振り返りで他の職員と共有するようにしている | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 18 | 0 | ・毎年評価をやっている。・改善出来る部分は毎年改善するように努めている。 | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 18 | 0 | | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 17 | 1 | | |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 18 | 0 | ・施設、法人内の研修会を年に5回行っています。 | ・十分な数とは言えない。また、それぞれの家庭があるので外部研修への参加を呼びかける事が難しい |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 18 | 0 | | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 17 | 1 | | ・標準化したアセスメントツールの使用がなかなか定着付かない所はあるが、今後もしっかり取り入れていく |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 18 | 0 | | |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 18 | 0 | | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 16 | 2 | ・普段の反省の中で個々の話をするようにしている・各月のリーダー複数人で話し合っている・毎月、リーダーの職員を中心にプログラムの大枠を決めて毎日の振り返り等でどうしていくのが良いか話し合っている。 | |
| ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 18 | 0 | ・年間計画、月案をたてて計画的に行っている・固定したものも大切だと考える・季節に合わせた取り組みなどを考えながら組み立てている。 | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------------------|----|--|----|-----|--|---|
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 18 | 0 | ・STや公認心理士の指導を受けて作成に繋がっている。 | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 18 | 0 | ・子どもを受け入れる前に話し合う時間を作っている。 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 18 | 0 | ・必ず振り返りを行うようにしている | ・時間に限りがあるため、話したいことを絞って話さなくてはいいけないが、それが難しい |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 18 | 0 | ・記録の取り方の研修を行った。 | ・記録の取り方には課題がある |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 18 | 0 | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 18 | 0 | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 18 | 0 | ・保健相談所が行う会議への参加や、保健師さんを招いての会議の場を設けている。 | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 17 | 1 | ・他機関への訪問、他機関からの訪問受け入れ、電話連絡等を行っている。 | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 16 | 2 | ・保護者を介して行っている。 | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 18 | 0 | ・保育所等訪問支援を利用し、情報共有を図っている。 | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 18 | 0 | 特別支援学校とは申し送りを行っている。 | ・通常級の学校との連携は難しい |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 18 | 0 | | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 16 | 2 | ・4.5歳児を対象に保育園等との交流保育を行っている。 | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している | 17 | 1 | ・参加している。 | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 18 | 0 | ・連絡カードや定期的に面談をしている・面談の時間をゆとりとり、話したい保護者には話を切る様なことはしない様にしている | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 16 | 2 | ・ペアレントトレーニングのようにマニュアル化しないで、勉強会や個々に応じた相談を行っている・ペアレントトレーニングは行っていないが、家庭での過ごし方、子どもへの関わり方など細かい助言は常日頃から行っている | |
| 保護者 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 18 | 0 | ・年度はじめに説明する機会を数日間設けている | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 18 | 0 | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 18 | 0 | ・毎日のように声をかけ、必要な場合はすぐに話すようにしている | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------------------------------|----|--|----|-----|---------------------------------|------------------------------|
| 各 へ の 説 明 責 任 等 | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 18 | 0 | ・保護者会や勉強会、交流会等、定期的を開催している。 | |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 18 | 0 | ・その場、あるいはその日のうちには対応するようにしている。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 18 | 0 | | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 18 | 0 | | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 18 | 0 | ・保護者に対しては口頭、書面、メールなど様々な手段を講じている | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 18 | 0 | ・年に一回、おまつりを開催し地域の方を招いている | |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 18 | 0 | ・年に一回、防犯訓練を行なっている | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 18 | 0 | ・隔月、避難訓練を行なっている | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 18 | 0 | ・大事なことはクラスを跨いで確認できるように貼り出している | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 18 | 0 | ・大事なことはクラスを跨いで確認できるように貼り出している | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 17 | 1 | ・転んだくらいは些細なことも書き留めるようにしている | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 17 | 1 | ・一年に一回の研修、虐待防止委員会を必ず行なっている | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 18 | 0 | ・必要な子には計画に盛り込み保護者には伝えている | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。